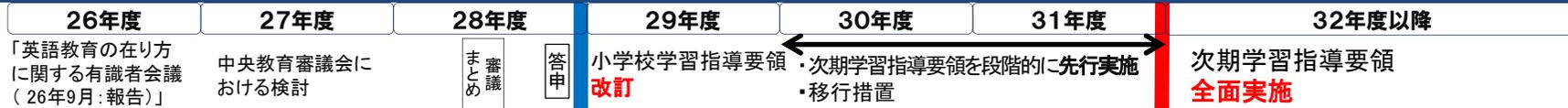


小学校外国語教育の早期化・教科化支援 実施スケジュール(イメージ)

平成29年3月22日現在



1. 新教材の整備・効果的な指導方法の普及

実施スケジュール

<H29>

- 2月:(連絡協議会)年間指導計画例素案(4学年分)、児童冊子・指導書(各学年1ユニットのサンプル)を配布
- 6月頃:(指導主事会)年間指導計画例(4学年分)、学習指導案例(5・6年)、児童冊子・指導書(5・6年編集原稿)、研修用資料を配布
- 9月頃:児童冊子・指導書(5・6年印刷原稿)のデータ共有
- 11月頃:(教育課程説明会)児童冊子・指導書(5・6年印刷原稿)、デジタル教材(5・6年)の内容説明資料を配布、音声(5・6年)のデータ共有
- 12月頃:5・6年用完成版教材を送付、児童冊子・指導書(3・4年印刷原稿)のデータ共有

<H30>

- 1月頃:(臨時指導主事会)学習指導案例(3・4年)、児童冊子・指導書(3・4年印刷原稿)、デジタル教材(3・4年)の説明資料を配布、音声(3・4年)のデータ共有
- 3月頃:3・4年用完成版教材を送付

英語(外国語)教育強化地域拠点事業

改訂の趣旨を先取した先進的な取組を全国に普及

2. 教員の指導力・専門性向上(推進リーダー・中核教員/全小学校教員)

外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

- 「英語教育推進リーダー」を毎年約200人ずつ養成(平成30年度までに約1000人養成)
- 「英語教育推進リーダー」による全中核教員を対象とした研修実施を促進
- 中核教員による全小学校教員を対象とした校内研修の完了を目指す

現職教員の研修を改善

初任研修や中堅研修その他の年次研修、免許更新講習、大学の養成課程などで活用可能なコンテンツの開発

教育委員会・大学等において研修コンテンツの活用を促進

開発

放送大学が開講する小学校教員等の外国語指導力向上のための講座「小学校外国語教育教授基礎論」を普及・活用促進

活用
英語コア・カリキュラムの開発・策定

各大学による教職課程の改善・充実の取組に活用

改善後の免許取得者を順次採用・配置

答申

制度改正等

大学による準備

新課程の認定

新課程の実施

「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」

小学校外国語教育の教科化に対応した講習事業(「免許法認定講習」+教科化等対応講習の開発・実施)本事業において平成32年度までに中学校英語免許状を取得する計画の教員数は約1,100人

小学校教員の中学英語免許併有を促進(併有状況を考慮した採用選考の促進)

3. 指導者の確保・充実

専門性を持った教員配置のための加配定数の充実(小学校英語に活用可能)

指導方法工夫改善定数

専科指導の充実

専科指導やTTなどで学級担任をサポート

ALT等外部人材の活用促進(JET-ALT、非常勤講師等活用への支援を含む)

ALT等外部人材2万人以上の配置を目指す 「日本再興戦略2016(H28.6)」 「対日直接投資促進のための政策パッケージ(H28.5)」

うち、補習等のための指導員等派遣事業(小学校英語) 400人

2,000人(目標)

※特別免許状 英語95件/215件

※特別非常勤講師 英語532件/4,559件(小学校)

小学校外国語教育の早期化・教科化等に向けた条件整備を一体的に推進